

01

新採用者研修  
(前期・後期)

当該年度に新たに採用された県・市町村等の職員を対象とし、前期(4~5月頃)及び後期(10~11月頃)に各1週間程度、青森県自治研修所において開催される基本研修※です。

目的

- 【前期】・公務員としての自覚と意識の確立を図ります。  
・職務遂行に必要な最低限の基礎知識と職場での応対力を養います。
- 【後期】・職務遂行に必要な基礎知識を習得するとともに、行政サービスの提供者としての意識を養います。  
・半年間の業務経験の振り返りや先輩職員との意見交換を通じて、仕事に取り組む姿勢や業務を円滑に進めるための知識を習得します。

カリキュラム内容

- 【前期】 地方自治制度、地方公務員制度、公務員倫理、文書事務、仕事の進め方、接遇 等
- 【後期】 財務制度の基礎、メンタルヘルス、法令の読み方、体験学習、先輩職員と語る 等

※基本研修

新採用職員から、中堅・ベテランの職員まで、各職位に必要な基本的な能力の向上・開発に重点を置いた必修研修です。「新採用者研修」のほか、「主事・技師研修」「主査研修」「主査第2部研修」「主幹研修」「管理者入門研修」などがあります。



◎新採用研修(後期)「先輩職員と語る」では、仕事に対する疑問や悩みに対して、先輩職員が様々なアドバイスしてくれます。

02

選択研修

職員個々の主体的な能力開発意欲に応じて選択できる研修です。「チャレンジ力向上」「コミュニケーション力向上」「マネジメント力向上」「期待する姿勢・態度」の4種類のコースに分類され、さらなる能力の向上につながる研修メニューを設定し、個々の職員の能力向上を図ります。

【選択研修の例】

地域力創造研修  
(チャレンジ力向上)

地方分権の進展に伴い、地域ブランドの開発、戦略立案等は今後ますます重要になると考えられます。この研修では、地域資源の発掘眼を養い、地域資源の磨き方、地域資源の発信の仕方など、地域資源の活用事業を立案するスキルを習得します。

クレーム対応研修  
(コミュニケーション力向上)

行政ニーズや住民の価値観が多様化する中、クレーム対応能力の向上が求められています。様々な場面でのクレームに対する心構えや手法についてロールプレイを行いながら学び、相手から理解と納得を得られる効果的なクレーム対応スキルを習得します。

OJTの進め方研修  
(マネジメント力向上)

職場研修(OJT)は、現場において業務の実践教育を行う重要な研修であり、その強化を図るためには、指導役の人材育成が不可欠です。この研修では、効果的なOJTの手法や主体的な行動を促すアプローチの方法、モチベーションを高める仕事の任せ方、育成プラン作成のポイントなどを習得します。

タイムマネジメント研修  
(期待する姿勢・態度)

時間の有効利用は、自己管理能力の向上とともに、仕事の生産性の向上につながります。この研修では「時間管理」を組織と個人の両面から捉え、仕事の成果に結びつく具体的手法を習得します。

女性職員キャリアビジョン研修  
(期待する姿勢・態度)

女性がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍するため、これからのキャリアを考えるとともに、女性リーダーとして必要なビジネススキルや意識を学びます。

03

若手職員  
ステップアップ  
海外研修

若手職員ステップアップ海外研修では、若手職員を諸外国に派遣し、国際的な視野の拡大や県政の政策課題に関する知見・政策形成能力の向上を図るとともに、その研修で得られた情報や経験等を県行政の発展につなげることを目的として実施しています。

青森県の課題に関する研修テーマや渡航先・行程を若手職員自らが自由に企画し、プレゼン審査を経て採択された場合、最大11日間の海外での調査研究を行うことができる研修です。

対象: 在職2年目から40歳未満までの職員  
派遣人数: 2~3人程度  
派遣経費: 青森県が負担(予算の範囲内)  
※年度によって募集内容等は変更となる場合があります。



◎ドイツの世界自然遺産に隣接した地域の観光施設において、「観光」と「自然環境の保全」の両立や「地域への貢献」についてのヒアリング調査を行いました。(写真右が研修生)



【平成28年度の研修テーマ】

- ・ノーマライゼーションにみる交流人口の拡大について(アメリカ)
- ・スウェーデンから学ぶ若者政策～若者が活躍できる社会の実現に向けて～(スウェーデン)

【平成27年度の研修テーマ】

- ・安全・安心で高品質な青森県の食の流通に向けた取組について(イタリア)
- ・「Aomoriブランド」の輸出拡大について～アメリカ合衆国における新たなマーケットの開拓～(アメリカ)
- ・地域の特性を生かした再生可能エネルギー自立地域の形成について(ドイツ)

【平成26年度の研修テーマ】

- ・世界自然遺産の保全と活用における取組について～持続可能な森林観光について～(ドイツ)
- ・青森ブランドの確立に向けた地理的表示制度の活用について(フランス、ベルギー)
- ・アジア地域への「青森県版クール・ジャパン」輸出戦略の展開(シンガポール)

04

トレーナー  
制度

新採用職員の不安や悩みを解決するため、トレーナーに選任された先輩職員が新採用職員の良き相談相手となり、職場での基本的なルールや日常業務の進め方について助言します。

05

部局研修

税務、土木などの業務について、各部局が主体となって、職場の業務に密着した研修を行います。

※土木(県土整備部)の研修体制については、17ページで紹介しています。

# 県土整備部 キャリア支援メニュー

## 01 キャリア 支援メニュー

### インターンシッププログラム

公共事業の仕組みや土木系公務員の役割等について幅広く知ってもらうとともに、職業意識向上の機会の提供やキャリア教育の一環となることを目的としたインターンシッププログラムを実施しています。対象は土木系公務員を希望する学生及び一般の方で、学部・学科及び学年は問わず幅広く受け入れています。

## 02 キャリア 支援メニュー

### キャリアマッチングセミナー

若手職員やOB・OGを主要メンバーとする職員自らの体験等に基づいた業務の「本質」や正確な「キャリアイメージ」を伝えることに主眼を置いているもので、毎年、主要大学・高校等においてセミナーを開催しています。

## 04 キャリア 支援メニュー

### 県土整備部の 研修体制

全22カリキュラム\*で  
技術系職員の  
スキルアップを  
支援しています

\*平成28年度時点

必修研修 全13科目		
事業過程管理研修	採用 1年目	1日 整備企画課
積算システム研修		1日 整備企画課
CAD研修(基礎編)	採用 2年目	1日 整備企画課
ファンクショナル・アプローチ基礎研修		2日 整備企画課
土質研修	採用 5年以内 に受講 制度	2日 整備企画課
建設材料試験研修会		2日 整備企画課
維持管理・危機管理研修	採用 5年以内 に受講 制度	1日 整備企画課
災害復旧事業一般研修		1日 河川砂防課
道路事業一般研修		2日 道路課
河川事業一般研修		2日 河川砂防課
港湾事業一般研修		0.5日 港湾空港課
都市計画研修		2日 都市計画課
一般構造物設計研修		2日 整備企画課
各地域整備部における現場研修	随時	各地域整備部

必修研修 全9科目		
設計VEスキルアップ研修	随時	整備企画課
道路計画研修	3日	道路課
災害実務者研修	2日	河川砂防課
環境色彩セミナー	2日	都市計画課
【橋梁アセットマネジメント関連】		
橋梁設計研修	3日	道路課
橋梁補修設計研修	3日	道路課
橋梁定期点検研修	2日	道路課
施工管理研修(橋梁)	2日	道路課
橋梁耐震設計研修	2日	道路課

県土整備部では、技術職員に対する独自の研修プログラムを用意しています。土木系学科等の卒業を問わず、土木系公務員として必要な技術力や課題解決力を身につけることが可能です。また、新採用職員には担当業務や自己研鑽意欲に応じて職員自らが受講計画を立案できる「カスタマイズ制度」を導入しています。

県土整備部では、人材を財産と捉え、地域と一体となり生涯を通じて人材を育成する環境を醸成するため、その基盤となる県土整備部「人財環境・継続教育プログラム」を策定しています。郷土の課題に弛まず立ち向かいながら、未来を創造していくために最も大切な「人の成長」を支援する組織を目指しています。

## 03 キャリア 支援メニュー

### 県土整備部キャリア NAVI

県土整備部キャリア NAVI は「県土整備部の紹介」と「キャリアサポートプログラム」の二部構成となっており、土木系公務員を目指す皆さんのキャリアイメージ支援となることを目的に開設したものです。また、SNSを活用した情報提供サービスも開始しており、職員採用試験情報をはじめ、インターンシップやキャリアセミナーの開催情報、各種イベント情報、各種トピックスなど、土木系公務員をお考えの皆さんに必要な最新情報をお届けしています。



県土整備部キャラクター「けんどんくん」



<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/aomori-kendo-careernavi.html>

## ✦ 業務内容

採用当時は、建築住宅課において県有建築物の営繕に関する基準や単価等の作成を行っていました。以降は地域県民局地域整備部等において、工事監理や県営住宅の維持管理などを行ってきました。

現在勤務する青森空港管理事務所では、滑走路等の管理や航空灯火施設の維持管理及び運用を担当しており、安全・安心・快適な空港施設の提供に努めています。

## ✦ 働きがい

電気職の主な配属先は県土整備部や各地域県民局地域整備部であり、県有建築物、空港施設、下水道施設、工業用水道施設などのインフラ整備や維持管理、運用が中心となります。

直接県民と接する機会は少ないものの、県民生活にとって必要不可欠な存在であり“縁の下の力持ち”といったところです。そのため、安全・安心であることは当然ですが、災害や不具合が発生した場合は、迅速かつ確かな対処が求められ、やり遂げた時の喜びや達成感はひとしおです。

## ✦ 青森県職員をめざす人へのメッセージ

社会情勢が目まぐるしく変化する中、希望あふれる青森県の未来を切り拓くため、しっかりと将来を見据え、多様な視点で課題に取り組んでいくことが求められると思います。青森県には自分の能力や得意分野を生かせる仕事必ず見つかると思っておりますので、是非チャレンジしてください。

# “縁の下の力持ち” として、県民の 安全・安心を守りたい

未来への  
ONE PIECE

わたしのお気に入り  
青森空港の  
迫力満点の離着陸



安田 尚嗣

Hisashi Yasuta

●採用年度:平成14年度

●所 属:青森空港管理事務所

未来への  
ONE PIECE

# ピンチはチャンス! おいしく食べて健康に!

わたしのお気に入り  
十和田  
バラ焼き



中田 寛子

Tomoko Nakata

●採用年度:平成27年度

●所 属:七戸町立天間西小学校  
(中郡上北学校給食センター)

## ✦ 業務内容

主な業務は学校給食の献立作成と食に関する指導です。献立作成に関しては、栄養価や子どもたちの嗜好等、考慮することがたくさんありますが、子どもたちの「美味しかった」との声を聞くことを楽しみに、日々邁進しています。また、食に関する指導は、大勢の前でお話するのでいつも緊張してしまいますが、一生懸命耳を傾けてくれる子どもたちに助けられ、楽しく指導を行っています。大変なことも多いですが、その分やりがいもあり、わくわくするような仕事です。

## ✦ 働きがい

子どもたちの「全部食べたよ」という言葉を聞くことが一番のやりがいです。そのように話すとき、子どもは笑顔で話しかけてくれるので、私まで笑顔になります。毎日こんな話が聞けるように明日も頑張りとう意気込むことのできる瞬間です。

## ✦ 青森県の将来像

青森県には新鮮でそのまま食べてもおいしい食べものがたくさんあります。現在、青森県は短命県ですが、こんなにもおいしい食べものがあるのだから、食べ方をちょっと変えるだけで青森県の平均寿命は変わると思います。ピンチはチャンス、青森県の短命県を健康的な給食と食に関する指導から変えていきたいと思っています。

## 誇りを持って 住み続けられる 街にしたい

★ わたしのお気に入り  
四季折々の  
弘前公園



**笹舘 惇志**  
Atsushi Sasadate  
●採用年度:平成24年度  
●所 属:県土整備部 建築住宅課

### ✦業務内容

採用からこれまで、建築確認業務、県営住宅の管理業務、県有施設の工事監理業務など県の建築職員としての基礎となる業務に携わりました。現在は市町村の公営住宅整備事業に対する技術指導、事業を行うための国の補助金の執行管理等の業務に携わり、国と市町村の架け橋として、市町村の事業を支える仕事をしています。

建物は完成してからがスタートです。未来に残る仕事をしているという意識を持ち、使う人の視点に立って仕事をすることが全ての業務に共通して大事なことだと思います。

### ✦青森県の将来像

青森県をより魅力的にするために、県民一人ひとりが積極的に地域に関わっていく必要があると思います。そのために行政の立場として、地域に住む一人ひとりが青森県に対する誇りと愛着を持って住み続けられるような住環境づくりをしたいです。

### ✦青森県職員をめざす人へのメッセージ

建築職の業務は多岐に渡り、求められる知識は専門的なものだけではありません。青森県をより良くしたいという向上心と、様々な分野に対する好奇心を持って、幅広い知識を吸収していくことが大事だと思います。経験豊富な先輩方から多くのことを学び、青森県の建築職員として一緒に働きましょう。

### ✦業務内容

採用されて3年間は、三八地域県民局地域整備部下水道課に所属し、下水処理施設の機械設備及び電気設備についての修繕工事や更新工事の設計・発注・監督業務を担当していました。

現在は、東青地域県民局地域整備部管轄課に所属し、県有施設の建替工事や改修工事の建築付帯設備(空調設備や電灯設備など)の設計・発注・監督業務を担当しています。その施設を使う方の希望をできるだけ聞くよう心掛け、喜んでもらえるような仕事をしたいと思い、仕事に取り組んでいます。

### ✦志望動機

以前は県外で働いていたのですが、東日本大震災があり、育った地域での災害の復旧やその地域の発展に携わりたいという思いが生じ、青森県職員の機械職を希望し転職しました。

実際に働いてみると、県有施設は建替えや改修が必要なものも多くあり、それらを計画的により良いものにしていくには、機械職や電気職の専門的な知見を生かしていくことが重要だと感じています。また、自分が仕事で携わったものが、自分の子どもや周囲の方々に使われることを考えると、機械職という仕事へのやりがい膨らみます。

### ✦青森県の将来像

インフラや施設の利便性の向上を目指すのはもちろんですが、利便性の向上だけでなく、その場所や人の雰囲気も良いものにし、多くの人に青森県で暮らしたいと思ってもらえるようにしたいです。

## 青森県が 良いところだなと みんなが思えるようにしたい

★ わたしのお気に入り  
子どもと散歩  
する弘前公園



**西村 三郎**  
Saburo Nishimura  
●採用年度:平成25年度  
●所 属:東青地域県民局  
地域整備部

### ✦業務内容

採用されて2年間は、鰯ヶ沢水産事務所で漁船建造の許可や登録業務を担当しました。漁船にも自動車のように登録内容の変更手続や定期検査があり、関係法令に基づいて適正に管理する必要があります。現在の職場では、水産業普及指導員として、漁業者に対し養殖技術や漁業経営に関する指導を行っているほか、地域の漁業者と共に小・中学生を対象とした水産教室を開催し、将来の担い手育成に繋げる取組を行っています。

### ✦青森県の将来像

水産に関わる身として感じたことは、青森県では本当に様々な漁業が営まれており、年間を通して四季折々の特産水産物が存在するということです。青森県は全国有数の水産業が盛んな県ですが、近年は水揚量の減少、魚価の低迷、漁業者の高齢化、後継者不足など様々な課題が残されています。青森県の豊かな海や湖沼、清流が育んだ高品質な魚介類を武器に、水産業振興に取り組んでいきます。

### ✦青森県職員をめざす人へのメッセージ

水産職の仕事内容は、デスクワークはもちろん、漁船に乗船しての調査や漁業者に対する技術指導などのフィールドワークもあり、とても刺激的な仕事だと思います。公務員という、お堅く暗いイメージを持たれるかもしれませんが、実際は職場の雰囲気も明るくコミュニケーションを大切にしています。熱意をもって青森県の将来の水産業を考え、漁業者と積極的に接していける方!一緒に青森県の水産業を盛り上げていきましょう!!

## 青森県の水産を 魅力ある産業として 未来に残していきたい

★ わたしのお気に入り  
風光明媚な  
仏ヶ浦海岸



**小泉 慎太郎**  
Shintaro Koizumi  
●採用年度:平成25年度  
●所 属:下北地域県民局  
地域農林水産部 むつ水産事務所

### ✦業務内容

初めての赴任先は中南地域県民局地域整備部で、大雨の際に浸水被害や土砂災害を防ぐための工事や、被害を受けた護岸を直す工事に携わっていました。現在は道路課で橋梁に関する業務を担当しています。橋梁は定期的に点検を実施し、点検結果に基づき維持・補修を行っています。私はその中でも橋梁の補修に関する予算管理や、他機関との協議を主に担当しています。私は仕事をする上で「相手の立場になって考える」ことを心掛けています。相手とは必ずしも人だけではなく自然や物のときもあります。様々な「相手」にとって良い方法は何かを考えて課題を解決していくよう気を付けています。

### ✦青森県の将来像

災害などから住民の財産を守る安全安心な生活はもちろんのこと、住みやすく活気のある場所に変わっていき、居心地のいい、愛着のある青森県にしたいです。

### ✦青森県職員をめざす人へのメッセージ

総合土木職の仕事は、工事の現場監督をイメージするかと思いますが、その他にも測量や設計業務の担当、他機関との協議、住民説明など多種多様です。毎日現場というわけではなく、デスクワークもあるので女性の方でも安心だと思います。職場の雰囲気も良く、私のまわりにも女性の総合土木職の方が増えてきているので、毎日楽しく過ごせています。一緒に働いて土木の力で青森県をより良いものにしていきましょう。お待ちしております!

## 土木の力で 居心地のいい 青森県にしたい

★ わたしのお気に入り  
伝統工芸  
「ごぎん刺し」



**館山 恵実**  
Emi Tateyama  
●採用年度:平成25年度  
●所 属:県土整備部 道路課

## 業務内容

採用1～2年目は、上北地域県民局で、家畜防疫や青森シャモロック、日本短角種、養蜂の振興に関する業務に携わりました。現在は、畜産課で、畜産関係資金、畜産物の需給調整や販売促進などを担当しています。相手の意見を聞くことを大事にするよう心掛け、特に生産者の方に感謝されたとき、とてもこの仕事のやりがいを感じています。

## 青森県の将来像

高齢化等により離農が進み、農業者が少なくなっているため、農業収入・人口を増やし、若い世代の農業者の活気があふれる青森県にしたいです。青森県には恵まれた自然環境があり、農林水産業は今後さらに伸びしろのある産業だと考えています。自分も今後、新規就農者や担い手のためにより良い体制を整えて、青森県の農林水産業を盛り上げていきたいです。

## 青森県職員をめざす人へのメッセージ

青森県職員の魅力は、県内の様々な地域について知り、その地域の人との関わりを持つことです。県職員の業務は大変なこともあります。多様なため、必ず自分のスキルアップにつながると思います。また、畜産課は女子率が非常に高くなっており、雰囲気もとても明るいので、一緒に働けることを楽しみにしています。

## 「青森県に住んでよかった」と感じる未来をつくっていききたい



わたしのお気に入り  
青森の冬山

**林業**  
皆上 伸  
Shin Minakami  
●採用年度:平成22年度  
●所属:農林水産部 林政課

## 業務内容

採用から3年間は下北地域県民局で山地災害から生命や財産を守るための治山工事を担当し、現場の調査や管理業務を行いました。最初の異動先となった自然保護課では、業務内容が大きく変わり、自然公園の許認可業務と白神山地の管理を担当しましたが、白神の登山道の管理などには治山工事の技術を生かすことができました。平成28年度からは林政課に異動し、課全体の広報広聴に関するとりまとめや、企業が行う森林整備活動の支援を行っています。

## 志望動機

大学で学んだ「林業」について直接仕事に生かしたい、また青森県に恩返しをしたいと考えたことが志望動機です。林業職は、100年先を考え計画を立案したり、山や人家を守るための工事をしたり、県産材の普及を図るために県産材の家づくりのPRをしたり、ケガをした白鳥を保護したりと、とても幅が広いものですが、いずれも林業職員としてのスキルを磨く貴重な経験だと感じています。

## 青森県の将来像

青森県は農林水産業の就業者比率が全国で最も高く、青森県の将来は農山漁村がより生き生きすることにかかっていると思います。農山漁村に住む人たちが「ここに住んでよかった、幸せだ」と感じる山づくりや山村振興のあり方を考え、それを実践していくことが私の仕事だと考えています。

## 新規就農者や若い農業者の多い、農林水産業の盛んな県にしたい

わたしのお気に入り  
新緑の奥入瀬渓流



**畜産**  
鳴海 妙  
Tae Narumi  
●採用年度:平成26年度  
●所属:農林水産部 畜産課

## 幸せを感じることができる青森県にしたい



わたしのお気に入り  
弘前公園

**保健師**  
須藤 美希  
Miki Suto  
●採用年度:平成22年度  
●所属:上北地域県民局 地域健康福祉部 保健総室

## 業務内容

新採用時は、出先機関である中北地域県民局で農業普及指導に携わり、花きの生産振興や技術指導で、地域の農業者と直接関わりながら、地域農業の活性化や産地づくりに取り組みました。平成28年度からは、総合販売戦略課で食品産業の振興のため、県内の農林水産物を活用した商品開発などに取り組む事業者を対象に、相談会やイベントの企画、支援制度の情報提供などを行っています。農学職は、農業者や関係機関との付き合いが多く、現場での課題や結果が見える仕事が多いので、やりがいがある仕事です。

## 青森県の将来像

青森県は、りんごや米だけでなく、野菜や花きなど、たくさんの農産物を生産している県です。生産技術の向上や販促活動により、青森県ブランドを確立し、農業者が「働きがい」を感じながら、楽しく仕事ができる産業に盛り上げていきたいと考えています。自分が取り組んだ仕事によって、関わった農業者や事業者の役に立ち、自然と笑顔が見られることがこの仕事の1番のやりがいです。

## 青森県職員をめざす人へのメッセージ

農学職は、農業に関心がある人、大学等で学んだ農学の知識を生かしたい人、人や地域と関わることが大好きな人に向いている仕事だと思います。生産振興から販売促進まで、幅広い仕事に携わり、持っている知識を生かしつつ、日々新しいことを発見・勉強しながら仕事ができるので、きっとやりがいがあると思います。

## 業務内容

採用からこれまで、県内の保健総室(保健所)で、健康増進・母子保健・感染症・結核対策業務に従事しました。現在は、精神保健・自殺対策業務を担当しており、精神障害者が地域で安心して落ち着いた生活ができるように、医療機関や市町村、関係機関と連携を取りながら支援をしています。その他、地域への働きかけとしてゲートキーパー(命の門番)育成講座をはじめとする各種の取組を行う等、住民への普及啓発も行っていきます。実際に働いてみて、地域全体に目を向けた取組をしなが、県民の健康を支えていると感じることができ、やりがいがあります。

## 青森県の将来像

病気や障害があっても、子どもから高齢者まで、皆が幸せを感じることができるような青森県にしたいです。住民によって異なる価値観を受け止めて、状況に応じた支援を適切に行うために悩むことも多いですが、困難なケースに真摯に向き合うことこそが自分を成長させてくれると信じ、周囲に相談し助言を得ながら、何事にも積極的に関わるように心掛けています。

## 青森県職員をめざす人へのメッセージ

学生時代から多くの人と関わり、様々な経験をすることは、自分の感性も豊かになり、今後、働く上でも貴重な財産になります。今のうちから多くのことに挑戦し、その経験を青森県に住む人のために一緒に生かしていきましょう。

## 青森県の農業をもっと盛り上げたい



わたしのお気に入り  
弘前公園の外堀に浮かぶ花筏

**農学**  
信平 華寿  
Kazu Nobuhira  
●採用年度:平成25年度  
●所属:農林水産部 総合販売戦略課

## ✦ 業務内容

採用当時は、県内の環境管理事務所に配属され、主に大気汚染や水質汚濁等の公害問題に関する規制・指導に携わりました。

現在は、廃棄物処理施設設置時の許可業務や県外から本県に搬入される産業廃棄物の事前審査業務等に従事し、県内の廃棄物処理が適正に行われるよう規制・指導を行っています。自分の周りに普段何気なくある風景(自然)は、人が自ら守っていかねば無くなってしまふ存在であると、自分の仕事の責任を実感しています。

## ✦ 青森県の将来像

青森の方は様々なことで他県と比較し、「青森は〇〇が駄目だ」など、否定的なことを発言する傾向があるのではないかと感じます。

生活している土地への誇りや愛着がなければ、生活の中での幸せを感じにくいはずで。ですので、多くの人が「ここに住んで良かった」「青森の〇〇は凄いいんだよ」など、自分たちがこの土地に住んでいることを誇りに思い、そして他の地域の方に自慢ができるような県にしたいです。

## ✦ 青森県職員をめざす人へのメッセージ

皆さんは、青森県に興味を持ち、自分の力でよりよい青森県へ変えていきたいと考えていると思います。考えたことを形にするために必要となるのは行動です。行動することで、新たに気づきがあり、また次の行動につながります。

日々の生活でも、失敗を恐れず、様々なことをぜひ経験してください。働いたとき、自分にとって青森県にとっても必ずプラスになるはずで。

県民が  
誇りや愛着を  
持てるような県にしたい

未来への  
ONE PIECE

わたしのお気に入り  
県内の美味しいもの  
食べ歩き



内海 宣俊

Nobutoshi Utsumi

●採用年度：平成21年度

●所 属：環境生活部 環境保全課

子どもが  
大切にされる  
青森県にしたい

未来への  
ONE PIECE

## ✦ 業務内容

こども相談総室では、児童虐待や障害相談、非行相談など子どもに関する様々な相談に応じていて、それぞれ役割分担をしながら、一つのチームとして動いています。私は児童心理司として、児童福祉司とペアになり、多角的な視点から子どもや家族が抱える課題を検討し、必要な支援を行っています。心理検査や面接を通して子どもの感情をくみ取り、長所や短所、どういった支援が必要かをアセスメントします。また継続的に心理療法を行うなど、治療的に関わることもあります。

## ✦ 青森県の将来像

子どもが心身ともに元気に育っていくためには、地域社会が連携しながら家族をサポートすることが必要だと感じています。まずは目の前にいる家族に対して地域で連携しながら援助していくことで、子どもが大切にされる青森県に近づけていきたいです。

## ✦ 青森県職員をめざす人へのメッセージ

福祉の現場はシビアなことも多く、自分の力不足を感じる場面も少なくありません。その分、毎日学ぶことが多い仕事ですし、困った時には相談できる先輩方がたくさんいます。私は、効果的な援助になるよう、子ども側の視点に立って子どもの気持ちを代弁するという児童心理司の役割を果たしたいと思っています。また、子どもと話すことが好きなので、子どもが自分の思いを率直に話してくれた時に「この仕事をしている意味があるなあ」と感じます。

青森県の心理職を目指す皆さんと一緒に福祉行政に携われる日を楽しみにしています。



わたしのお気に入り  
十二湖の青池  
大間のまくら



伊藤 小織

Saori Ito

●採用年度：平成26年度

●所 属：三八地域県民局

地域健康福祉部 こども相談総室

# 健康で長生きできる 青森県を目指したい

## 業務内容

調剤業務や抗がん剤のミキシングなど  
様々な業務を行っています。中央病院配属と  
なり数ヶ月間は先輩方につききりで技術  
の指導をしていただき、10月からは病棟  
での薬剤業務を行い、現在は内分泌内科  
病棟を担当しています。入院患者様の持  
参薬の鑑別、服薬説明、糖尿病教室など、  
多岐にわたって業務を行っています。

## 志望動機

青森県について調べていた時に、人口減  
少率が全国2位、短命県全国1位であること  
を知りました。当時大学生だった私はこの内  
容がとて衝撃的で、大学で学んだ医療の  
知識を青森県で生かせないかと思い、青森  
県職員を希望しました。日々命を救うために  
多くの職員が協力合っていて、自分もさら  
に知識をつけ、役立てるよう頑張りたいと思  
います。

## 働きがい

実際の現場は学生の時に想像し  
ていたものよりも業務量が多く、  
忙しく感じます。また、薬や疾患  
に対する知識もまだまだ不足  
しているので、わからない内  
容や自信が無い部分は積極  
的に調べたり、相談するよう  
心がけています。病院には  
さまざまな職種の方がい  
て、それぞれが自分の専  
門性を生かし患者様の健  
康を守っています。自分は薬  
のプロとして責任を持ち、青  
森県の健康増進に貢献してい  
きたいです。

## 学生時代にやっておくべきこと

大学時代に医療について幅広く勉強する  
中で、自分が興味のある分野や好きな分野  
を持つことが大切だと思います。そうする  
ことによって、病院に配属された時に自分が  
やりたいことが明確になり、希望が通ると  
その内容の業務を行うことができます。

## message

周りの方々のサポートが、とてもあたたかい職場  
です。業務でわからないことがあれば、親身になって  
説明してくれたり、薬学的な知識で不安があれば、一  
緒に悩み、考え、解決策を見いだしてくれます。多くの  
先輩方のサポートがあって、今、自分一人でも自信  
を持って業務を行うことができ、青森県民の命を救  
うために貢献できています。ともに働き、健康で豊か  
な青森県を目指して頑張りましょう!

## 木下 光

Hikaru Kinoshita

採用年度 平成28年度 職種 薬学

所属 青森県立中央病院 薬剤部



わたしのお気に入り  
青い海公園から  
ゆっくり海を眺めること

# 安全で過ごしやすく 自然と調和した 美しい青森県にしたい



## 業務内容

現在、下北地域県民局で、部内の工事検査予定や、研修の取りまとめ等の企画業務と、港湾整備の業務を担当しています。港湾整備の業務は、港湾利用者からの苦情・要望から問題点を把握し、解決策を検討した結果、防波堤・消波ブロック等の構造物によって解決することになれば、調査・設計をし、工事を行います。それに加え、港湾構造物の補修や点検を行います。

## 志望動機

今までお世話になった方が多い青森県で、人の生活を支える仕事がしたいと思ったことがきっかけです。大学時代に土木分野を専攻したため、自ら学んだ知識や経験を生かすことで青森県に貢献したいと思い、青森県職員をめざしました。

青森県民の生活をよくするために、自分が何ができるのか、問題意識を常に持ちながら、日々の業務に当たりたいと思います。

## 働きがい

初めて工事の発注・監督業務を担当したとき、業務の一連の流れがわからず、もどかしさや不安を覚えましたが、諸先輩方から手助けをいただいたことで業務を完遂することができました。工事が完成したときは、安堵しました。それからは、自分の考えを持って質問することを心掛け、疑問点はその都度調べ、理解してから進めることを意識しています。

## 青森県の将来像


活力があふれるような青森県にしていけるには、その土台として安全で災害に強く、県民が過ごしやすく感じるまちづくりが必要です。また、豊かな自然を保全し、美しく魅力的な青森県にするために、これから自分の知識・経験を増やし、貢献したいです。

## 佐藤 康平

Kouhei Sato

採用年度 平成28年度 職種 総合土木

所属 下北地域県民局 地域整備部

 わたしのお気に入り  
仏ヶ浦の奇岩と  
紺碧の海

## message

先輩職員からの  
青森県が好きで、県民の生活をより良いものにしたいという思いが大切だと思います。自分が県職員になって、青森県の将来のために何ができるのか、どのような分野で貢献することができるのかを考えながら、日々頑張ってください。

# こどもの笑顔・安心・安全が 守られる青森県にしたい



## 業務内容

児童福祉司として、子どもや保護者、保育園、学校、警察、児童福祉施設等からの相談(養護・非行・障害・育成)を受け、調査や社会診断、指導等のケースワーク業務を児童心理司の協力も得てチームで行っています。虐待通告を受けて子どもの安否確認や保護の緊急対応をすることもあります。

## 志望動機

大学で社会福祉を専攻し、卒業後は障害児・障害者のケースワーカーを県外でしていました。青森を離れ福祉の仕事に携わる中で、知識や経験を生まれ育った青森に還元していきたいと思うようになり、待ちに待った福祉職が創設され、平成27年度から採用が始まったことから、青森県職員になろうと思いました。

児童相談所の業務は子どもやその家族の問題に深く踏み込み、その後の長い人生に関わる非常に責任の大きな仕事だと改めて感じています。最善の判断、より良い対応ができるよう児童福祉司としての専門性を高めていくことが目標です。

## 働きがい

面接を繰り返し一緒に問題の解決策を探っていくなかで、子どもや保護者自身の頑張りにより、改善に向かう小さな変化が生まれた時や、相談者の表情が明るくなった時にやりがいを感じます。専門的な知識やスキルはもちろん重要ですが、様々な価値観を持った保護者、問題を抱えた子ども一人ひとりと真摯に向き合う姿勢を忘れないようにしていきたいです。

## 青森県の将来像

一見、平和に感じる青森県ですが、H26年度の児童虐待受付件数は858件、H27年度は912件と非常に多い状況が続いています。家庭や地域で子どもが苦しい思いをせずに生活していけるよう、少しでも手助けができればと思います。

## 吹越 栞

Shiori Fukukoshi

採用年度 平成28年度 職種 福祉

所属 上北地域県民局 地域健康福祉部  
福祉子ども総室

 わたしのお気に入り  
迫力満点の  
八甲田山の樹氷

## message

先輩職員からの  
県民の生活に直接関わる福祉の現場は、楽しいことばかりではなく、時には対立や、辛抱強く関わり続けなければならない場面もありますが、その分やりがいや達成感は大きく、また、困った時に支えて下さる経験豊富な先輩もたくさんいます。福祉職は平成27年度創設されたばかりですので、今後、専門性をもった仲間が増えていくことを楽しみにしています。





[Aomori Prefectural Government Journal]

平成 29 年度版

青森県職員採用総合案内

誰かじゃない。――。

青森県の「未来」を守るのは、私だ。



Aomori  
青森県

技術職